販売用資料

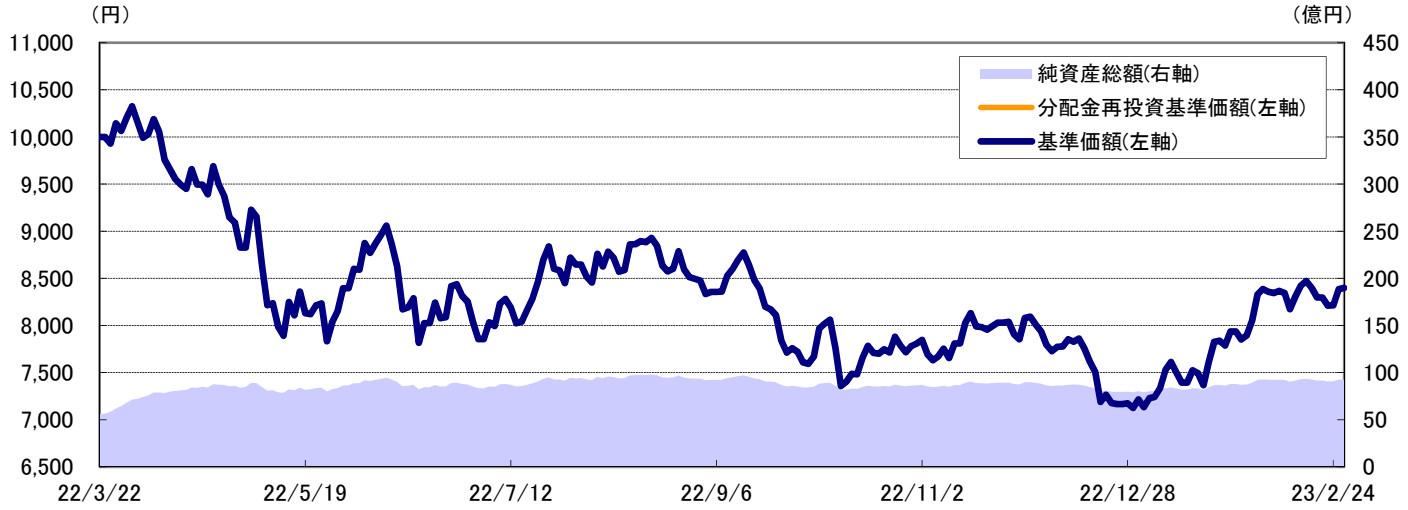
＜月次運用レポート＞
2023年2月28日現在

設定・運用は 岡三アセットマネジメント
お客様専用フリーダイヤル ： ０１２０－０４８－２１４
当社ホームページアドレス ： https://www.okasan-am.jp

グローバル仮想世界株式戦略ファンド 愛称 フューチャーメタバース

追加型投信／内外／株式

設定来の基準価額の推移



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。当ファンドの実質的な信託報酬は、投資対象ファンドの信託報酬を間接的にご負担いただくことになりますので、作成基準日現在、純資産総額に年率1.948%程度を乗じて得た額となります。
※分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

基準価額	8,399 円
純資産総額	92.6 億円

※基準価額は1万口当たりです。

騰落率

	1ヵ月前	3ヵ月前	6ヵ月前	1年前	3年前	設定来
分配金再投資基準価額	6.97%	6.94%	▲ 1.13%	－	－	▲ 16.01%
参考指数	2.28%	0.48%	0.18%	－	－	2.81%

※騰落率は、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の各月の月末および設定日との比較です。
参考指数の騰落率は、当該日前営業日の現地終値を基に算出しております。
※分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。
※参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（円ベース）です。
※参考指数の騰落率は、Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメントが算出しております。
※MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

最近5期の分配金の推移

2022/09/20	0 円
設定来合計	0 円

※分配金は1万口当たり、税引前です。
運用状況等によっては分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

ポートフォリオ構成比率

グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）	99.0%
日本マネー・マザーファンド	0.2%
短期金融商品・その他	0.8%

※構成比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

岡三アセットマネジメント

グローバル仮想世界株式戦略ファンド　愛称 フューチャーメタバース

追加型投信／内外／株式

グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）の状況（1）

国・地域別組入比率（上位10）

	国・地域	比率
1	アメリカ	53.9%
2	台湾	16.7%
3	中国	6.2%
4	韓国	5.0%
5	日本	4.3%
6	ドイツ	3.7%
7	フランス	2.2%
8	オランダ	2.0%
9	ノルウェー	2.0%
10	ルクセンブルク	1.0%

通貨別組入比率（上位10）

	通貨	比率
1	米ドル	55.9%
2	台湾ドル	16.7%
3	ユーロ	7.9%
4	韓国ウォン	5.0%
5	日本円	4.3%
6	香港ドル	3.8%
7	ノルウェー・クローネ	2.0%
8	中国元	1.5%
9	－	－
10	－	－

業種別組入比率（上位10）

	業種	比率
1	情報技術	74.8%
2	コミュニケーション・サービス	13.8%
3	一般消費財・サービス	5.9%
4	ヘルスケア	2.7%
5	－	－
6	－	－
7	－	－
8	－	－
9	－	－
10	－	－

企業規模（株式時価総額）別構成比率

企業規模	比率
大型株　（200億米ドル以上）	40.9%
中型株　（50-200億米ドル）	27.2%
小型株　（50億米ドル以下）	29.0%

※株式時価総額の区分は、本資料独自のものであり、将来変更される場合があります。

投資カテゴリー別構成比率

カテゴリー	比率
メタ・サービス	38.5%
メタ・デバイス	31.0%
メタ・インフラ	27.6%

※投資カテゴリーは、ニューバーガー・バーマン独自の分類であり、将来変更される場合があります。
※投資カテゴリーは、下記の分類に基づいています。
メタ・サービス：仮想現実（VR）／拡張現実（AR）／複合現実（MR）を活用したゲーム、エンターテインメント（ライブや映画等）、広告等
メタ・デバイス：VR／AR／MR向けの機器（ヘッドマウントディスプレイ等）や部品
メタ・インフラ：データセンター、サイバーセキュリティ、エッジコンピューティング向けの機器や部品

※各比率は、「グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）」の純資産総額に対する比率です。
※ニューバーガー・バーマンのデータを基に岡三アセットマネジメントが作成しております。

岡三アセットマネジメント

グローバル仮想世界株式戦略ファンド　愛称 フューチャーメタバース

追加型投信／内外／株式

グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）の状況（2）

組入上位10銘柄　　(組入銘柄数: 48)

	銘柄名	業種	国・地域	比率	銘柄概要
1	エヌビディア	情報技術	アメリカ	5.0%	半導体メーカー。データセンターやパソコン、自動車などに搭載される「画像処理半導体（GPU）」の分野で強みを有する。
2	パロアルトネットワークス	情報技術	アメリカ	4.6%	ネットワークをサイバー攻撃などから守る「ファイアーウォール」に強みを有するサイバーセキュリティソフト企業。メタバース空間の安全性を高めることに貢献。
3	アイクストロン	情報技術	ドイツ	3.7%	ドイツの半導体製造装置メーカー。高解像度のウェアラブルに不可欠なマイクロLEDの製造に用いられるMOCVD装置のリーダー企業。
4	アンシス	情報技術	アメリカ	3.7%	シミュレーションソフトウェアを手掛ける。航空宇宙や自動車産業向けの製品に強みを有しており、仮想空間上における製品設計や製品テストなどをサポート。
5	メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	アメリカ	3.6%	米国のSNS企業。フェイスブック、インスタグラムなど世界最大級のSNSを有する。メタバース空間ホライズンワールドを展開し、VRヘッドセットでも強みを持つ。
6	スーパー・マイクロ・コンピューター	情報技術	アメリカ	3.4%	データセンター向けラックソリューションを提供。データセンターのパフォーマンス改善、消費電力の節減に貢献。
7	ソニーグループ	一般消費財・サービス	日本	3.4%	電気機器やエンターテインメントコンテンツを手掛ける。メタバース向けのコンテンツ提供力を強化している点に注目。
8	ベントレー・システムズ	情報技術	アメリカ	3.4%	ソフトウェア開発会社。建物、インフラ向け設計・シュミレーション分析ソフトウェアやデジタルツインを提供し、建築物の機能向上やコスト削減に貢献。
9	グローバル・ユニチップ	情報技術	台湾	3.3%	半導体チップ設計開発サービス会社。データセンター向けAI（人工知能）、HPC（ハイ・パフォーマンス・コンピューティング）チップの設計開発などを手掛ける。
10	ノバテック・マイクロエレクトロニクス	情報技術	台湾	3.3%	台湾を拠点とする集積回路メーカー。ディスプレイドライバーで使用される集積回路の設計に強みを持ち、VRヘッドセット向けにも提供。

※比率は、「グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）」の純資産総額に対する比率です。
※ニューバーガー・バーマンのデータを基に岡三アセットマネジメントが作成しております。

岡三アセットマネジメント

グローバル仮想世界株式戦略ファンド　愛称 フューチャーメタバース

追加型投信／内外／株式

ファンドマネージャーのコメント

※以下は、当ファンドが高位に組入れております「グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）」のファンドマネージャーコメントを基に作成しています。

投資環境

2月のグローバル株式市場は下落しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）では0.25%の利上げが決定され、利上げ幅が2会合連続で縮小する結果となる一方で、米国の雇用情勢や景況感を示す経済統計が強めの内容となり、消費者物価指数（CPI）においても根強い物価上昇圧力が観測され、金融引き締めが長期化するとの見通しが強まりました。こうした中、米国10年債利回りは昨年9月以来となる大幅な上昇となり、株式市場にとってマイナス要因となりました。また、米国やカナダで中国のものとされる偵察気球が相次いで撃墜され、米中間の緊張が高まったことも投資家心理を冷やす要因となりました。

運用経過

当月の運用につきましては、引き続き、メタバースの普及に伴い中長期的な業績成長が期待できる銘柄に積極的な投資を実施しました。ポートフォリオでは、割安感の強まった相対的に業績見通しが良好な銘柄に新規投資をするなど、機動的な銘柄入れ替えを行いました。

具体的には、AI（人工知能）など先端領域向けのカスタムICの設計・開発に強みを持つ、台湾のグローバル・ユニチップ（情報技術）について、新規組入れを実施しました。半導体受託製造最大手TSMC（台湾セミコンダクター）を親会社とする同社は、メタバースのインフラに不可欠となるAIやHPC（ハイパフォーマンスコンピューティング）向けの半導体事業に注力しており、今後の成長に期待できると判断しました。一方、ディスプレイを駆動させるための半導体「ドライバーIC」に強みを有する、米国のシナプティクス（情報技術）の全売却を実施しました。短期的には、競争環境の激化のほか、消費減速による業績見通しへの懸念が株価の弱気材料になると判断し、より魅力度の高い銘柄への投資原資としました。

今後の運用方針

足元の米国経済は想定以上に底堅く推移しており、また、欧州では懸念されていた天然ガス不足が節減策や暖冬によって和らぎ、景気の下支え要因となっています。株式市場は金融政策の見通しに一喜一憂する展開が続いているものの、世界経済が景気後退に陥るリスクが低下しており、このことは企業業績や株式市場にとってプラス材料であるといえます。一方で、高金利環境が継続することで、借り入れに依存した業績成長が難しくなることから、自律的な成長力やキャッシュフロー創出力の有無が業績や株価の優勝劣敗を分ける要因になると考えます。

こうした中、足元では日本国内でもメタバースの取り組みが広がっています。日本のIT企業や金融機関などが2023年度内にも技術やノウハウを持ち寄って、メタバースの基盤となるオープン・メタバース「リュウグウコク（仮）」を構築することが明らかとなりました。金融機関はユーザーの本人認証や決済、保険開発を担い、IT企業はデータ管理、表現や技術を支援し、商社が海外展開を担う方針です。日本ではこれまでオープン・メタバースが存在せず、今後は企業がメタバースを活用する基盤になることが期待されています。

このように世界ではメタバースが進展しており、投資チームは関連企業の業績成長余地は大きいと考えています。引き続き、徹底したボトムアップ・リサーチを通じて、メタバースの普及に伴い業績成長が期待できる企業を選定し、バリュエーションにも注意を払った運用を実施して参ります。

※ 今後の運用方針等は、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。また、市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

ファンド情報

設　定　日	2022年3月22日
償　還　日	2027年3月19日
決　算　日	年2回、3月および9月の各月の19日（休業日の場合は翌営業日）

ファンドの特色（1）

1 以下の投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の取引所等に上場している仮想世界関連企業※の株式（預託証券（DR）を含みます。）に投資します。

※仮想世界関連企業とは、インターネット上の仮想空間で展開されるバーチャル経済圏の拡大によって、業績面で恩恵を受ける企業をいいます。

- グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）
  <運用会社>ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー
- 日本マネー・マザーファンド

ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シーについて

ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シーは、ニューバーガー・バーマン・グループ・エル・エル・シー※の100%子会社であり、グループ内における株式、リート、債券、オルタナティブにかかわる運用部門です。

※ニューバーガー・バーマン・グループ・エル・エル・シーは、1939年創業、米国の独立系資産運用会社です。世界の運用拠点にて機関投資家や個人投資家向けに、様々な資産運用サービスを提供しています。

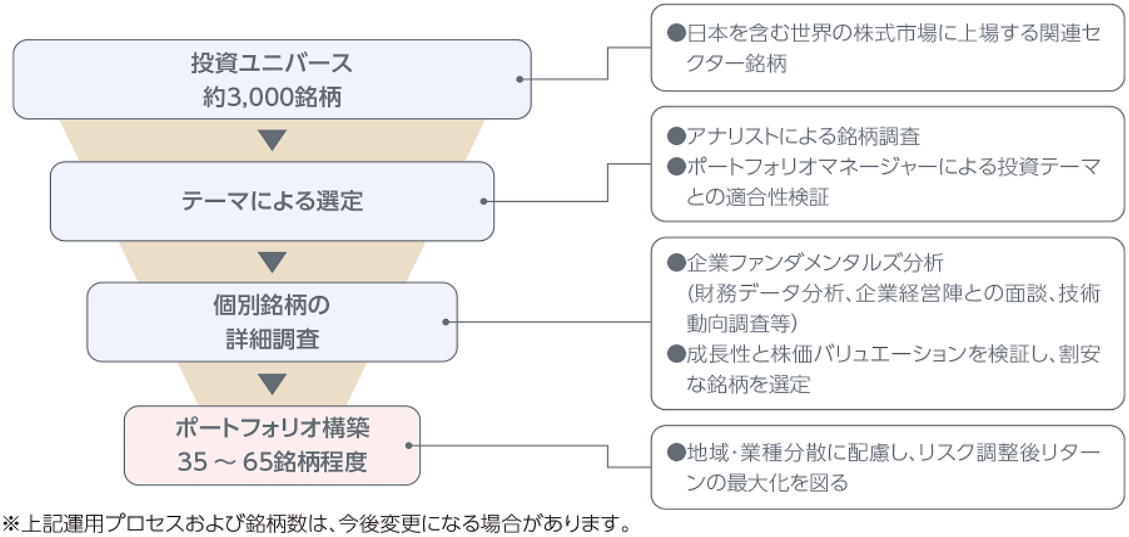
DR（預託証券）とは

自国以外で株式発行会社の株式を流通させるために、その発行会社の株式を銀行などに預託し、その代替として自国以外で発行される証券をいいます。

ファンドの特色(2)

2 ポートフォリオの構築にあたっては、仮想世界関連企業の中から、ファンダメンタルズ分析を通じて成長性や株価バリュエーションを精査した上で銘柄を選定します。

「グローバルメタバースファンド(円建て、ヘッジなしクラス)」の運用プロセス



※上記運用プロセスおよび銘柄数は、今後変更になる場合があります。

3 グローバルメタバースファンド(円建て、ヘッジなしクラス)の組入比率は、高位を保つことを基本とします。

4 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

●分配方針

年2回、3月および9月の各月の19日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

- 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。
- 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

※分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

投資リスク(1)

基準価額の変動要因

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

●主な変動要因

株価変動リスク
株式の価格は、発行会社の業績や財務状況、株式市場の需給、政治・経済状況等の影響により変動します。

為替変動リスク
外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。

信用リスク
有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となることがあります。

流動性リスク
有価証券等の時価総額が小さく、または取引量が少ないとき、市況の急変、取引所の閉鎖等により、有価証券等の売買価格が通常よりも著しく不利な価格となることがあります。

●その他の変動要因

カントリーリスク

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

投資リスク(2)

その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 (当初申込期間中は、1口当たり1円です。)
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払い下さい。 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
換金単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までとし、販売会社所定の事務手続きが完了した場合に、当日の受付として取り扱います。
換金制限	ありません。
購入・換金申込不可日	以下に該当する日は、購入・換金申込の受付を行いません。 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ニューヨークの取引所の休業日
購入・換金申込受付の中止及び取消し	投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消すことがあります。
信託期間	2027年3月19日まで(2022年3月22日設定) ただし、投資者に有利である場合等は、信託期間を延長することがあります。
繰上償還	受益権口数が10億口を下回ることとなった場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。
決算日	毎年3月19日および9月19日(休業日の場合は翌営業日) *初回決算日は2022年9月20日です。
収益分配	年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は、税金を差し引いた後、決算日の基準価額で再投資します。
信託金の限度額	5,000億円
公告	原則として、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。 https://www.okasan-am.jp
運用報告書	毎決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて交付します。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用				
購入時手数料	購入金額（購入価額×購入口数）に、販売会社が独自に定める購入時手数料率を乗じて得た額 **購入時手数料率の上限は、3.3%（税抜3.0%）です。** 購入時手数料率は変更となる場合があります。 詳しくは販売会社にご確認下さい。			ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。
信託財産留保額	**ありません。**			
投資者が信託財産で間接的に負担する費用				
運用管理費用（信託報酬）	ファンド	**純資産総額×年率1.298%（税抜1.18%）**		
		配分 委託会社	年率0.35%（税抜）	委託した資金の運用の対価です。
		配分 販売会社	年率0.80%（税抜）	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
		配分 受託会社	年率0.03%（税抜）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	投資対象とする投資信託証券	グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス） 純資産総額×年率0.65%		
	実質的な負担	**純資産総額×年率1.948%程度** 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。		
その他費用・手数料	監査費用:純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%） 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。 ※運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。			

※運用管理費用（信託報酬）、監査費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産から支払われます。その他費用・手数料（監査費用を除きます。）はその都度、投資信託財産から支払われます。

※ファンドに係る手数料等につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

委託会社および関係法人の概況

委　託　会　社　岡三アセットマネジメント株式会社　（ファンドの運用の指図を行います。）

金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

受　託　会　社　三菱UFJ信託銀行株式会社　（ファンドの財産の保管及び管理を行います。）

販売会社について

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
(登録金融機関)					
株式会社仙台銀行	東北財務局長(登金)第16号	○			

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

ご注意

- 本資料は岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。購入の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。投資信託説明書（交付目論見書）の交付場所につきましては「販売会社について」でご確認ください。
- 本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。